

ひよこ通信

ひよこの会会報 令和3年11月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81
電話 & Fax 047-450-9144
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

◇ひよこの会の収益事業

コロナ禍のため事業が限定され“資源回収”・“きょうされん販売”に限られてしまっています。

今回の、“きょうされん物品販売2021[冬]”にご協力頂きありがとうございます。

今後とも、私どもの活動に、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)は、NPO法人にじと風福祉会の活動を全面的に応援しています

◇そもそも、… ひよこ通信、にじと風とは

平成4(1992)年 八千代市の「マザーズホーム、現児童発達支援センター」を卒園した3名のお子さんのお母さんたちが、就学の壁に悩むことから始まりました。

昭和44(1969)年7月に 肢体不自由児の親御さんたちが立ち上げた、「簡易マザーズホーム」が母体となって、昭和48(1973)年4月 八千代市に「マザーズホーム」が誕生しました。ここでは、親子の訓練をしたり、母子分離によって我が子を距離を置いて見るができるようになったり、悩み・相談を気軽にできる友人ができたとか、障害児の親にとって貴重な場となりました。

昭和56(1981)年4月から 障害児の就学猶予・免除が無くなり、養護学校(現特別支援学校)への就学が義務化されました。一方で、「マザーズホーム」を卒園した子の親たちにとっての拠り所が消えてしまいました。

平成7(1995)年10月 既に卒園した子の親たちが、様々に抱えている課題を解決する、そのキッカケにしようと、「ひよこ通信」を発行することにしました。

平成9(1997)年3月 ひよこの会(八千代肢体不自由児者父母の会/現八千代心身障害児者父母の会)がスタートしました。

主な活動のひとつが将来の施設建設に向けた“資金の確保”でした。

会の設立3年目に、地域・関係者のご支援を頂いて、障害児者施設「にじと風」を開所することができました。平成11(1999)年7月のことです。

採用職員は無し、会員のお母さん方・地域のボランティアによる手探りの自主運営でした。

現在のような法律上の制度は皆無、運営費は全て利用者が負担しました。

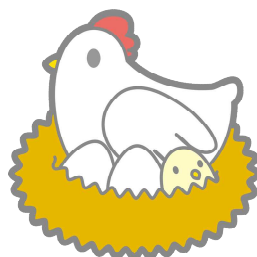
利用者の負担は、少ない人で 30,000円/月、50,000円/月を超える人はザラでした。

障害者総合支援法、児童福祉法の制定、改訂と制度が頻繁に変更されましたが、現在は利用者の負担は確実に低減され、各種の福祉サービスを利用しやすくなったのは事実です。

昨年からのコロナ禍による影響もあり、福祉サービスを提供する側の「NPO法人にじと風福祉会」の事業運営は火の車です。

私たちは、にじと風福祉会の施設 “にじと風”・“さくらいろの風”・“あかねいろの風”・“花浅葱”が希望する利用者の要望に誠実に応えられるよう応援しています。

まずは自主財源確保の一助にと収益事業を行っています。



◇にじと風保護者会の「茶話会」がありました

- ・日時：11/13(土)、10:00-11:00
- ・参加者：白柳都、伊藤麻紀、吉野純子
- ・"おしゃべり"の様子(今回も三密を避けてWEB会議形式で行われました)
 - *話題は、子どもの進学のこと、卒業後の進路先のこと、facebookでのこと、買い物のこと、新しくできたお店のこと、・・・
 - *参加者が3人になってしまいましたが、予定時間いっぱい、大いに盛り上がりました。

◇新型コロナウイルスに関して

- ・新型コロナウイルスの新規感染確認数が急激に減ってきました。ワクチン接種が進み、3回目が計画中、一方12歳未満の人の接種はどうなるのでしょうか。
- ・にじと風では、独自に職員全員が毎月PCR検査を受診しています。11/8(月)の検査では全員が陰性でした。

◇にじと風での様子から

- ・Aさんは、新聞紙を手で破ることで気持ちが安定するようです。何時頃から始まったのか、そのキッカケは何だったのか分かっていません。破れば、当然床に散乱します。職員が止めさせようとしても聞き入れません。すったもんだの挙句、Aさんの仕事だということになりました。ほかの利用者も当たり前という感じで、誰も何とも。切れ端は職員が袋詰めをして倉庫へ。
- ・コロナ禍のため、にじと風の土曜・休日活動は、施設内の活動が中心となります。9/25(土)土曜活動は、Aさん特製の新聞切れ端を、ボールプールに詰込み、その中にサツマイモを埋めて促成の芋畑が完成、職員の労作です。
- ・順番に芋ほり作業、掘ったイモ大きさを競いました。今回の芋ほりは泥んことは無縁だし、なかなか好評。蒸かしたホクホクのイモを食べ楽しい一日を過ごしました。
- ・Aさんの日頃の仕事が役に立ちました。でもAさんは芋畑には手を入れませんでした。自分のイメージにはフィットしなかったのでしょうか。



◇11月度収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	備考(担当など)
1	10/11(月)～	きょうされん物品販売(冬)	0	(発注済、納品待ち)
2	11/7(日)	市役所フリマ	0	(新型コロナウイルスの影響を考慮し中止)
3	11/13(土)、9:00-10:00	資源回収	0	大野晃/(実績報告待ち)

◇これからの予定

- ・10/11(月)～12/10(金) 国際福祉機器展2021「Web展」/リアル展は11/10(水)～11/12(金)
- ・12/5(日) 市役所フリマ(八千代 遊・友・バザール) /⇒中止
- ・12/11(土)、9:00-10:00 資源回収
- ・12/11(土)、10:00-11:00 にじと風保護者会

◇編集後記

八千代市役所の駐車場で毎月開催している「八千代遊・友・バザール」(フリマ)は、昨年7月を最後に休止中です。再開の声が多く寄せられていますので、来年の春ごろには再開できればと思います。

ひよこ通信に最後までお付き合いを頂きありがとうございました。

「にじと風福祉会」のホームページ(<https://www.nijitokaze.jp>)の一角にも掲載していますので、ご覧頂きご意見をお寄せ頂ければ幸いです。